

はじめに

平成7年1月17日、兵庫県南部を中心に発生した阪神・淡路大震災を契機として、それまで「近畿で大きな地震は起こらない」と関心の薄かった滋賀県においても、学校や行政機関庁舎・橋梁等の公共土木施設の耐震化、非常食をはじめとする備蓄物資の質的・量的向上、総合防災訓練の充実化などが着々と進められてきました。

県や市町における対策だけでなく、各地域においては自主防災組織の結成、防災資機材の整備、訓練の実施や組織台帳などの整備が行われています。現在、滋賀県における自主防災組織の結成率は85%を上回っています。

しかしながら地域による自主防災組織活動への取組の熱意は格差があり、また役員の交替により活動が広がらない、手詰まり感がある等様々な課題を抱えていることも事実です。

本冊子は、自主防災組織のリーダーとなられた方のために、その役割や自主防災組織の基本的な活動内容等について分かりやすくマニュアル化したものです。地域における自主防災活動を充実させるための参考として活用していただきますようお願いします。

平成22年3月

滋賀県防災危機管理局